

25. 目の合うて牛の寄り来る小春かな (澤) 10点
りん特選／酪農家と手塩にかけた牛との関係と見てもいいし、遊びに来た牧場での一コマと見ても面白い。小春が効いている。
68. 紅葉かつ散るはぐれてもまた会える (三晴) 8点
翠々特選／人の出逢いと別れと紅葉かつ散るの季語がひとつになっていました。
32. 下総の空のからんと棉吹けり (きよ) 7点
しっぱな特選／古くから麻や綿花の産地で糸へんの下総の、山地ではない雰囲気があります。
35. 大綿に櫃の青さの日ぐれかな (とちおとめ) 7点
くるみ特選／櫃の青さの日暮れが、大綿の白さを際立たせている。
96. ホームドアすつと開いて冬に入る (玲子) 7点
としこ特選／ホームドアには何種類かあるようだが、設置が進んでいる。何に冬を感じるかは人それぞれ。この人はすつと開いたドアに「ああ、冬！」と感じたのだ。感覚やよし！
105. その重き遠くなりけり綿布団 (山音) 7点
薑子特選／その重さに、はたと気づく齡。色鮮やかな婚礼布団の存在感は偉大だった。今は軽い布団がいい。
41. 綿菓子の嵩の減りゆく風邪心地 (くるみ) 5点
えりこ特選／綿菓子と風邪心地の取り合わせがちょうどよく、微熱でふわふわした感じがよく分かる。
99. 冬を迎へむ木綿のやうな人と (ようこ) 5点
指月特選／さらつと乾いた冬の青空が目には浮かびます。憧れますが、木綿のような人になかなかなれません。
125. 伐採後の深空や雪迎へ (雀) 5点
からむし特選／我が家の裏の杉林もかなり伐採され、空が広くなったようで、青さがひとときわ輝きます。そんな伐採によってできた空間に、子蜘蛛が糸を引いているところを見つけたのですね。情景がありありと浮かびました。
28. 首すわる赤子や綿の熟るころ (すみれ) 4点
雀特選／豊穣の秋と赤子。綿を摘む女たちの姿など昔の里山の情景などがオーバーラップしてきた。
119. 木洩れ日の明るさを撒く冬初め (せきれい) 4点
雀特選／木洩れ日を撒いたのは冬という季節そのもの。冬の澄んだ日差しの中で心静かに冬を迎えた思い。
123. 秋風を孕み綿100パーセント (千代志) 4点
ぱんだ特選／真っ青な秋の空に、真っ白な綿シャツ。一年で一番気持ちのよい季節。
11. 座布団の綿をつくらと菊の宿 (ようこ) 3点
雀並選／よく日に当たった座布団だろう。「菊の宿」のもてなし振りや佇まいが思われる。